平成二十二年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校二年　国語　解答及び配点一覧

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に該当する領域において、□に示したような「関心・意欲・態度」の見える言語活動を行っていれば、加点するという考え方で配点しています。
また、大問2は、言語事項をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する言語事項の観点を示しています。

大問・領域	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
1 話すこと聞くこと	(1)		①			○図書館長のメッセージを正確に聞き取っている。 **エ**	3	20
	(2)		②	○会話の内容は参考にしていないが、読書ノートの活用が読書量の増加に有効と考えた理由をまとめている。 （なぜなら、） **・読書ノートをつけることで、本を読む習慣が身に付くと考えたからです。** 等	2	○会話の内容を参考に、読書ノートの活用が読書量の増加に有効と考えた理由をまとめている。 （なぜなら、） **・自分の読書の傾向が分かり、読書の幅が広がると考えたからです。また、だれかに自分のお気に入りの本を紹介する時にも役立つと思ったからです。** 等	3	
	(3)	関意態	③	○読書量を増やすために取り組み内容をまとめようとしている。	3	○図書委員長として、読書量を増やすために取り組む内容を簡潔にまとめようとしている。 **・「おすすめ図書コーナー」の設置** **・読書量クラスマッチの実施** 等	4	
			④	○会話の内容からではなく、自分で考えた内容をまとめている。 ○会話の内容を受け、考えたことのみをまとめている。 ○会話の内容を受け、考えたこととその理由をまとめている。	4 4 6	○会話の内容を参考に、読書量を増やすために取り組みたい内容とそう考えた理由を聞き手に分かりやすくまとめている。 **・（次に、）本校独自の取り組みとして、「おすすめ図書コーナー」を設置したいと考えています。図書館に先生や友達のおすすめの本を並べることで、読書に対する興味が増し、今まで読んだことのない分野の本を読む人が増えるのではないかと思ったからです。** 等	10	

授業改善の視点　日常生活の話題について、プレゼンテーションをする場面などを設定し、相手に分かりやすい語句の選択や場に応じた言葉遣いなどを考えて話す言語活動を工夫する。

2 言語事項																			
(1)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰		
	かか（える）	**つ**（く）	**なな**（め）	**ふっこう**	**さきゅう**	**操**（る）	**掘**（る）	**冒険**	**秒針**	**朗報**	**ア**	**もらう** 等	**筆順**						
	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2						
	２０																		

大問・領域	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
3 読むこと（古典）	(1)		⑱			**エ**	2	12
	(2)		⑲			○「さる人」について、まとめている。 ・**口数が少ない**（人） 等	2	
	(3)	関態意	⑳	○ 美しい日本語について、自分の考えをまとめようとしている。	1	○ アンケート結果や「徒然草」を引用して、自分の考えをまとめようとしている。	3	
			㉑	○ アンケート結果や「徒然草」の引用はしていないが、自分の考えをまとめている。 ○ アンケート結果は使っていないが、「徒然草」を引用して自分の考えをまとめている。 ○「徒然草」の引用はしていないが、アンケート結果を使って自分の考えをまとめている。	2 3 3	○ アンケート結果や「徒然草」を引用して、自分の考えをまとめている。 （それは、） ・**昔に比べ、謙虚で口数が少ない人が減っているからではないでしょうか。徒然草に「馴れたるさまに上手めき、所得たる気色して」とあるように、近頃、相手の気持ちを考えないで一方的におしゃべりをする人が増えたように思います。** 等	5	

授業改善の視点　古典を読む目的を意識させ、古典に表れているものの見方や考え方について、他の資料と関連付けて自分の感想をまとめる言語活動を工夫する。

大問・領域	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
4 読むこと（説明文）	(1)		㉒			○ 最も適切な新聞のコラムの見出しを選んでいる。 **ウ**	3	17
	(2)		㉓	○ 指定された語を用いずに、二つの文章の書き方の違いをまとめている。 ○ 二つの文章の書き方の違いは明確でないが、指定された語を用いてまとめている。	2 3	○ 指定された語を用いて、二つの文章の書き方の違いを的確にまとめている。 ・**パンフレットの前文は客観的な事実を中心に書かれているが、新聞のコラムは事実だけでなく書き手の感想なども交えて書かれている。** 等	6	
	(3)		㉔	○ パンフレットの言葉は使っていないが、新聞のコラムの主張について、自分の考えをまとめている。 ○ 新聞のコラムの主張とは論点がずれているが、パンフレットの言葉を使って、自分の考えを簡潔にまとめている。	4 4	○ 新聞のコラムの主張について、パンフレットの言葉を使って、自分の考えを簡潔にまとめている。 ・**熊本に来た人に熊本の魅力を発信し、また来てもらえるようにすることが、県内各地域の発展につながると考えられるから。** 等	8	

大問・領域	中問	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	大問の計
書くこと	(4)	関態意	㉕	○「資料」を参考に、《意見の理由や根拠》か、《反論に対する意見》のいずれかを書こうとしている。	2	○「資料」を参考に、《意見の理由や根拠》と《反論に対する意見》の両方を書こうとしている。	4	
			㉖	○「資料」を参考に、《意見の理由や根拠》を書いている。	4	○「資料」を参考に、具体的な数値などを示しながら《意見の理由や根拠》を書いている。 ・**なぜなら、新幹線が全線開業すると、博多まで約三十五分、関西圏でも約三時間で行けるようになるからです。これまでより、約四十分も移動時間が短縮されます。それにより、日帰りで旅行する人が増えるなど、利用者の行動範囲が広がることが予想されます。** 等	7	
			㉗	○ 具体的な例は示していないが、《反論に対する意見》を書いている。	4	○ 具体的な事例を示しながら、《反論に対する意見》を書いている。 ・**しかし、車は渋滞に巻きこまれ、計画通りに移動できないということも考えられます。その点、新幹線には渋滞がなくほぼ時間通りに目的地に着くことができるという利点があります。** 等	7	
		言	㉘	○ 文の成分の照応（主語・述語や修飾・被修飾の照応）等に注意し、正しく記述している。 ○ 誤字、脱字がなく、正しい表記で書いている。	1 1	○ 文の成分の照応（主語・述語や修飾・被修飾語の照応）等に注意し、正しく記述しているとともに、誤字・脱字がなく、正しい表記で書いている。	3	
	(5)	関態意	㉙	○ いずれかのアドバイスを参考に、下書きを一か所推敲しようとしている。	1	○ 両方のアドバイスを参考に、下書きを二か所推敲しようとしている。	2	
			㉚	○ アドバイス①を受けて、推敲すべき接続語を見つけている。 ・**「しかし」という接続語の使い方が間違っている。** 等 ○ アドバイス②を受けて、推敲すべき場所だけを書いている。 ・**「このように」**	3 3	○ アドバイス①を受けて、正しく推敲している。 ・**「しかし」では文章の意味が通じないので、「また」と書き直す。** ※「次に」など文意が通る接続語に書き直していれば可。 等 ○ アドバイス②を受けて、正しく推敲している。 ・**「このように」の部分で、段落を設ける。** 等	4 4	

授業改善の視点　書いた文章を読み返し、文と文との接続関係や段落相互の関係に注意するなど、視点を明確にして推敲する言語活動を工夫する。